

平成28年度岡山市市民協働推進モデル事業報告書

実施団体	団体名	NPO 法人だっぴ (担当者 : 河原 彩花)			
	合同実施団体 (* 協議体・実行委員会等で実施した場合、構成団体をすべて記載してください。)	岡山市立足守中学校、岡山市立瀬戸中学校 岡山市立岡山中央中学校、岡山市立吉備中学校、中国学園大学			
協働した岡山市の 担当課等と担当者	課名	教育委員会事務局指導課		電話	086-803-1592
	担当者 2名	職名	室長	職名	指導副主査
		氏名	一守和弘	氏名	西村誠博
	課名	教育委員会事務局指導課		電話	086-803-1592
担当者 2名	職名	係長	職名	主任	
	氏名	岡崎公也	氏名	寺島安代	
事業の名称	中学生が地域の大学生、保護者と交流するキャリア教育プログラムのモデル化				
<p>本事業により解決を目指した課題とその成果</p> <p>※アンケートなどあれば添付してください。</p>	<p>0、はじめに 本年度は岡山市民協働事業2年度目となり、1年目の効果検証をもとに汎用性のあるプログラムとして多様な地域で実践モデルをつくること目標としている。地域環境や課題の異なる4校で、事前ヒアリングを行い実施方法を検討。各中学校を中心にプログラムを実施した。また、だっぴのような場を広げていくために不可欠となる人材の発掘にも繋がった。</p> <p>1. 解決を目指した課題と現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の他者とのつながりや関わりが不足している ・様々な価値観・職業観に触れる機会が少ない ・中学生の自己肯定感が低く、夢や目標を持っていない ・学校教育の中で、自分の考えを人に伝える機会が少ない <p>2. 市民ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育への関わりを増やしたい ・地域の学校でどのようなことをしているのか知りたい ・安心安全な地域社会の形成 ・若者の社会参画、地元への定着や愛着の増加 <p>3. 課題解決の方策 (目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生が、自分たちの地域で活躍する大人の多様な価値観を知り、地域や社会への興味関心を高めること ・中学生が、生き生きと語りかけてくれる先輩の言葉を聞き、少し先のイメージを持つこと ・参加する先輩一人一人が、子どもたちと直接関わることにより地域の学校教育に対する興味関心を高めること ・中学生が、授業を通して話したり聞いたりする経験により、自分や他者への理解を深め 今や将来を考えるきっかけとなり 行動に移す動機を得ること ・上記のような機会が多様な地域で得られる環境をつくるため、継続して実施ができる方法を模索すること <p>4、実施成果 岡山市内4校で中学生だっぴプログラムを実施した。</p>				

	<p>成果については別途資料を添付する。</p>
<p>市と協働した内容と協働の効果</p>	<p>1. 提案団体が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業全体の企画とコーディネート ・ キャスト募集と事前講習会の実施 ・ プログラム作成と当日までの準備 ・ 当日の運営 ・ 実施後アンケートの集計と報告書作成 <p>2. 岡山市の担当課等が果たす役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校への依頼協力、事業普及啓発の為にチラシを中学校や関係機関へ配布 ・ 募集校のとりまとめ ・ 学校支援ボランティア登録者へのキャスト募集案内 <p>3. 期待する事業成果・目標と効果</p> <p>3-1 教育現場で展開できるキャリア教育モデルを提示する</p> <p>目標⇒地域のPTAや大学など今後主体となる団体と連携した形での中学生へのキャリア授業のモデルを示し、今後、教育現場で展開されていくことを目標とする</p> <p>効果⇒教育委員会との協働と記してあることで、地域の方や大学生の安心感につながり地域での展開の第一歩となる参加のハードルを下げる事ができた。</p> <p>また、地域のおとなが参加することで、だっぴのような場への理解と共感の機会となり、学校に任せきるのではなく、主体的に実施に向けて協力してくれる人材の発掘につながることができた。</p> <p>3-2 中学生の意識の変化をアンケートにより把握する</p> <p>目標⇒参加中学生には、参加前と参加後で岡山っ子育成条例に掲げられている「市民協働による自立する子どもの育成」に必要な3要素「豊かな人間性」「自分を高める」「共に生きる」についての変化を把握するためのアンケートを実施してその効果を定量的に把握する。その上で、プログラムの内容と効果を評価して今後の教育現場への展開に適した内容に修正していく。</p> <p>効果⇒実施後ふりかえりを行い、ベースのプログラムより改善を行っていった。基本となるプログラムと各実施現場の課題やねらいに合わせた実施例をつくる事ができた。※実施前後アンケートを実施した結果を別資料にて添付しています。次年度は専門の知識を持つ協力者に助言をもらい、より精密な効果検証結果が示せるよう準備している。</p> <p>3-3 大学生やキャストに対して</p> <p>目標⇒地域の役に立ちたい、人の役に立ちたいという大学生は多いが、地域の中でのその存在感を示す機会は少なく、今回の事業で中学生のメンターとしての役割を果たすことで地域社会へ参画していく経験を積んでもらい、地域の人的資源の向上につなげる（生涯学習効果）</p> <p>効果⇒今期153名がキャスト登録を行い、延べ246名のキャストが中学生だっぴに参加した。他者の役に立つ経験から自信につながり、他団体ボランティアに参加するなどの行動も見られた。副次的に30歳以上の参加希望者もキャストとして参加し、“後輩世代や地域のためになにかしたい”気持ちを行動につなげる機会を提供することができた。</p>

<p style="text-align: center;">事業の内容</p> <p>※事業内容が具体的にわかる資料を添付してください。(チラシ、報告書、写真等)</p>	<p>中学生と地域の大人や大学生が生き方や仕事、勉強の意味などについて本音で語り合う交流会を以下の要領で開催すると共に、実施結果を教育関係者に広く啓発する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大人としての保護者等 (PTA、地域人材、企業) との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・上記交流会の大人として、地域住民や地元企業を中心に呼びかけ参加してもらう。 ・呼びかけに際しては、教育委員会と共に PTA などに趣旨と目的を丁寧に説明し、協力を依頼する (理解してもらった上で参加、協力してもらうことを重視する)。 2. 大学生世代との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・中学生が“少し未来の自分を重ね合わせられる”ようなメンターの役割が可能な地元の大学生世代 (18~30 歳程度) をターゲットに広報を行った。 ・県内大学を訪問し、授業での告知や大学連携の相談を行った。教授などから推薦されることで大学生は参加する理由がで、新規キャストの参加につながった。 ・キャストには、中学生に学びと気づきが起きるよう、NPO 法人だっぴの事前講習の受講を必須とした。 3. 広報 (実施主体への呼びかけ) <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施について、教育委員会と協力してモデル実施校の募集と決定を行った。 ・事業の実施結果は、報告書として整理し報告書の作成や HP 等でわかりやすく公開する (現在進行中) ・プログラムの様子や参加した人の感想をまとめた映像を作成した。だっぴの実施を検討している人が広報しやすいよう情報整備を行う。 4. 実施したプログラムについて 岡山市内の下記 4 校で実施した。詳細は別添え資料参照 ○平成 28 年度実施校 <table border="1" data-bbox="459 1122 1465 1547"> <thead> <tr> <th>実施中学校</th> <th>実施日</th> <th>対象</th> <th>ねらい又は課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足守中学校</td> <td>H28. 6. 23 (日)</td> <td>47 名/3 年生</td> <td>・広い視野を持って欲しい ・進路を考えるきっかけに</td> </tr> <tr> <td>瀬戸中学校</td> <td>H28. 7. 13 (水)</td> <td>124 名/2 年生</td> <td>・様々な仕事の大人に出会う ・進路が具体的になる</td> </tr> <tr> <td>岡山中央中学校</td> <td>H29. 1. 14 (土)</td> <td>111 名/2 年生</td> <td>・地域とのつながりが増す ・大人になるイメージを持つ ・働くことや将来を考えるきっかけに</td> </tr> <tr> <td>吉備中学校</td> <td>H29. 2. 25 (土)</td> <td>256 名/2 年生</td> <td>・将来を考えるきっかけに ・普段話せないもやもやした気持ちを話せる ⇒ 悩み解消</td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> 5. 取組内容の普及活動 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の取組内容を県内に広く PR し、キャリア教育に取り組む教育現場に参考としてもらうために、活動内容と実施までの流れの分かるパンフレットを作成し教育委員会と協力して実施主体となりえる学校や地域団体等に配布する。(進行中) 	実施中学校	実施日	対象	ねらい又は課題	足守中学校	H28. 6. 23 (日)	47 名/3 年生	・広い視野を持って欲しい ・進路を考えるきっかけに	瀬戸中学校	H28. 7. 13 (水)	124 名/2 年生	・様々な仕事の大人に出会う ・進路が具体的になる	岡山中央中学校	H29. 1. 14 (土)	111 名/2 年生	・地域とのつながりが増す ・大人になるイメージを持つ ・働くことや将来を考えるきっかけに	吉備中学校	H29. 2. 25 (土)	256 名/2 年生	・将来を考えるきっかけに ・普段話せないもやもやした気持ちを話せる ⇒ 悩み解消
実施中学校	実施日	対象	ねらい又は課題																		
足守中学校	H28. 6. 23 (日)	47 名/3 年生	・広い視野を持って欲しい ・進路を考えるきっかけに																		
瀬戸中学校	H28. 7. 13 (水)	124 名/2 年生	・様々な仕事の大人に出会う ・進路が具体的になる																		
岡山中央中学校	H29. 1. 14 (土)	111 名/2 年生	・地域とのつながりが増す ・大人になるイメージを持つ ・働くことや将来を考えるきっかけに																		
吉備中学校	H29. 2. 25 (土)	256 名/2 年生	・将来を考えるきっかけに ・普段話せないもやもやした気持ちを話せる ⇒ 悩み解消																		
<p>事業実施の体制 ・実施者名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総括責任者 柏原 拓史 (代表理事) 2. 個別事業責任者 河原 彩花 (事業担当) 																				

平成28年度市民協働推進モデル事業収支決算書

事業名	中学生が地域の大学生、保護者と交流するキャリア教育モデル
-----	------------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金	実施団体	654,463	
	その他	0	
自己資金等合計(a)		654,463	
事業収入		56,484	スケッチブック生徒使用分 523名×108円
事業収入合計(b)		56,484	
その他収入		0	
その他収入合計(c)		0	
岡山市補助金決定額(d)		1,168,000	
収入合計(e) = (a)+(b)+(c)+(d)		1,878,947	

<支出>

費目		金額	内訳	証拠書類番号
事業実施経費	消耗品費	128,912	当日必要なスケッチブック、靴袋、名札など	別添資料
	交通費	61,020	各中学校参加キャスト、スタッフ交通費	別添資料
	印刷製本費	15,275	各中学校実施にかかる資料印刷費	別添資料
	諸謝金	410,000	カメラマン4校、企画リーダー4名	別添資料
	宣伝広告費	99,360	瀬戸中学生だっぴ報告書デザイン費	別添資料
	旅費	124,380	先進事例視察および研修会移動費	別添資料
	人件費	1,040,000	130人日×(8h×1000円)	別添資料
事業実施経費合計(f)		1,878,947		
管理運営経費				
管理運営費合計(g)		0		
総事業費(h) = (f)+(g)		1,878,947		